

発行元: 株式会社アークフラッシュ本部

発行責任者 : 笹川 透

インフルエンザ情報

宮崎市保健所は九日、同市加江田の特別養護老人ホーム、ゴールデンレイク（黒木亮一園長、入所者七十七人）で、入所者と職員の計三十九人からインフルエンザB型が確認され、八十三歳と九十歳の女性入所者二人が八日と九日に、いずれもインフルエンザ性肺炎で死亡した、と発表した。

インフルエンザB型が確認されたのは、入所者二十八人、職員十一人。さらに、入所者二十人がインフルエンザの症状を訴えている。現在、二人が病院に入院している。

*** 未だアークフラッシュ施工された老人施設からは発症の報告な無い**

致死型マラリア

ケニアのナイロビにある医療研究機関が9日、2002年に世界で致死性の高い形のマラリアを発症した人の数が、推定のほぼ2倍に相当する5億1500万人に達したとの報告を発表した。

大半は、サハラ以南のアフリカ地域で発症しているが、25%近くは東南アジアと西太平洋地域で発症している。

報告を作成したボブ・スノー医師は、ロイター通信に、「臨床例だけで、年間5億1500万人が発症している。これは大変な水準だ。われわれは年間の発症推定の算出を控えめにしているが、それでも、問題はわれわれが思っていたよりはるかに深刻だ」と述べた。

報告は、科学誌ネイチャーに掲載された。

1998年に世界保健機関(WHO)が示した推定は2億7300万人で、このうち90%がアフリカでの発症となっている。

*** 一日も早いアークフラッシュの導入がアフリカに必要であろう**

学校内感染の脅威！！

県健康増進課は10日、上牧町片岡台3丁目、町立上牧第二小学校（島田欽司校長、573人）の児童と職員の2人が結核に感染したと発表した。2人は感染したが発症はしておらず、薬剤の服用で発症を防ぐ治療を行う予定。同校勤務で2月に結核と診断された女性教諭から二次感染したとみられる

アークフラッシュ最新情報

2005年アークフラッシュ展示会が東京霞ヶ関ビルにて開催されました



国際光触媒検定協会



顧問 田畑陽介 氏